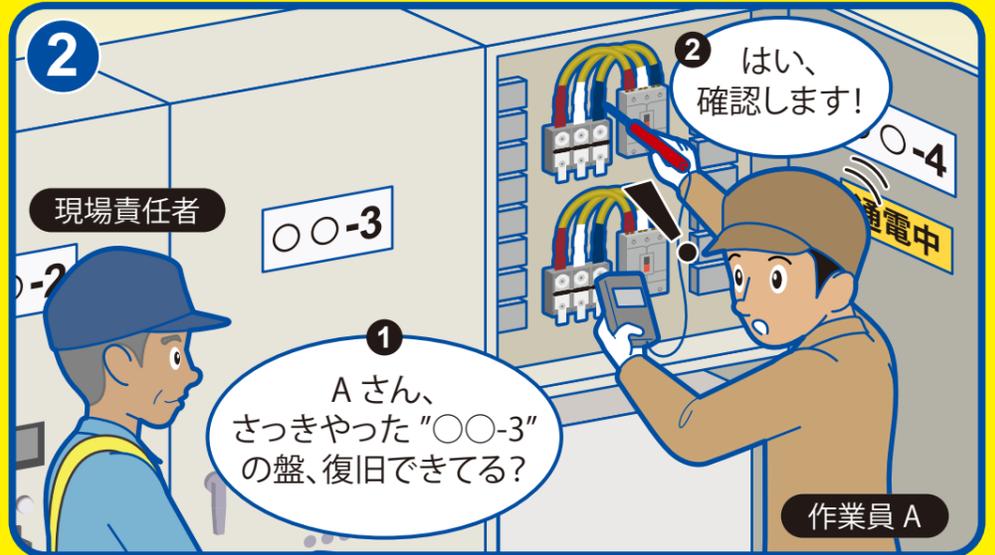


妨害・中断 (気が散ること)



対策



解説

どのような状況で起きる?

- ・周囲の騒音や他の作業員の動きや、話しかけられたとき

どのような影響を受ける?

- ・目の前のタスクに対する集中が阻害される

どのように防ぐ?

- ①適切な人員配置や事前の配慮により作業者が集中できる環境へ
- ②作業中であることの現場表示による周知など阻害要因を排除
- ③中断した場合は十分に安全を確認した上で再開

人間の記憶はあいまいで、中断することでエラーの確率がぐっと上がってしまう。親切と思ったことが実は阻害要因だったりする。周りも配慮が必要で、監督者はそれらが阻害要因にならないよう目を光らせることが必要じゃ!



Dr.ジャン・シー

「エラーの芽」は、人間がエラー起こしやすくなる職場に潜む好ましくない状況であり、それに気付いて排除することにより、エラー発生の未然防止につなげることができます。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しています。

